

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 泰斗福祉会	施設長 代表者	近藤 浩之	法人・ 事業所の 特徴	<法人の方針> ・私たちは、利用される方々の生活をスタッフが一丸となって支え、共に笑顔のある毎日が送れるよう支援します。 ・私たちは、人が集まり、支え合い、開放感のある時間を共有して誰にも開かれた当たり前の生活を地域の皆様と共につくっていきます。 ・「風早に行けば何とかしてくれる」と思っていたいただけるようなサービスを提供します。 職員は、上記の理念を常に念頭に置き、行動します。				
事業所名	小規模多機能 にじいろ	責任者 管理者	杉森 理代・宮本 武						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	1	3	0	1	1	0	3	0	10

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各運営推進会議を活用しながら、改善計画についての取り組みや現状の課題等を随時発表していく。また外部評価に関連した内容や項目に沿って、事前に分かりやすく説明した上で、地域かかわりシートを配布していきます。	運営推進会議を事業所内で開催することで、現場職員一人ひとりにも内容を理解することができました。各運営推進会議で事業所の取り組みや課題を発表できました。具体的に、連泊されているご利用者の今後について意向を確認し、個々に合わせた行き先を前向きに話を進める事ができました。	・職員全員での情報共有が出来ていない様子だ。必要な共有があれば時間を作つて話し合いを行う必要がある。また、意見が出しやすい環境づくりが必要。 ・質問に対して、職員によって捉え方に違いが見られる。意識共有していく事が必要。 ・計画内容や実践内容が抽象的で分かりにくい。具体的に行った事、行う事を記載すれば分かりやすくなるのではないか。	・ミニカンファレンスを月に2~3回開催する。 ・退出職員が来た時点での申し送りを行う。 ・話し合い時には、伝えるべき内容を正確に伝え、また、相手に伝わっているか確認し合いながら進める。 ・毎月行われる職員会議で運営内容や課題について話し合い、それらを運営推進会議で報告する。また、運営推進会議で出た意見を職員会議にて報告し検討する。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方々に足を運んで頂けるよう、明るく入りやすい雰囲気作りに努めています。具体的に、事業所内外を自由に行き来できるよう、扉を開放します。入り口は施設の顔であり、来訪者への丁寧な対応は継続していきます。また事業所の入り口が分かりやすいように玄関入り口に看板を立てかけます。	以前に比べ、地域の方々に声かけ等行う回数が増えた為、知名度が少しづつ上がって来ています。職員の住んでいる地区的住民に「にじいろはどんなサービスがありますか?」と聞かれ、小規模のサービスや特養との違いを説明することできました。来訪者に対し、丁寧な対応はできました。看板の代わりに事業所の前に職員の顔写真のボードを作りました。	・前回の改善計画に取り組んでいる姿は見られる。 ・顔写真のボードはとても分かりやすくてよいことだ。 ・入り口にパーテーションが置かれている時があった為入りづらかった。利用者や家族が出入りしやすい環境づくりが必要。 ・職員が研修にあまり参加できていないのではないか。	・入口のパーテーションはしないようにする。徘徊のある利用者に付き添い、フロアを離れる際には見守りや介助を適切に行う。また、利用者の状態を日頃から観察し、本人が安心できる対応を心掛ける。 ・研修は勤務表の中に入れ必ず参加できる工夫する。
C. 事業所と地域のかかわり	今後も継続して、ほのぼの新聞や運営推進会議を通して、事業所内で行っているサービス内容を分かりやすく説明していきます。「いきいきカフェ」に来られた方に事業所を紹介したり、地域に発信していきます。	定期的にいきいきカフェ(認知症カフェ)に参加し、地域の方々と関わる事ができました。地区のお店やお祭りで住民にお会いした際、「～が楽しかった。こんなことを知りたい。」等実際の生の声も聞くことができました。	・職員が地域の社会資源についてもっと知るべきだ。(公民館や集会所、地域行事) ・地域の方から苦情や提案をもっと出しでもらえるような関係作りや工夫が必要。 ・いきいきカフェに利用者や家族が参加できれば良い。にじいろとしての取り組みが必要ではないか。	・利用者一人一人のケアプランに地域の人達と交流できる機会や場面を盛り込む。 ・利用者の家族にも声をかけし、地域交流の場に参加してもらう。 ・地域交流の場に職員が交代で参加し、来られている方と話をしたり、少しでも顔と名前を覚えてもらえるような働きかけを行う。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>ご利用者を連れて、その方が暮らしている地域に出向いて行きます。また連続の宿泊サービスを利用されている方は、苞木地区の新しい関係作りを支援していきます。具体的に、前回同様に、公民館祭りや施設交流会に参加し、地域との関係が切れずに継続できるよう支援します。</p>	<p>ご利用者を連れて、その方が暮らしている地域に出向くことは、あまりできませんでした。施設交流会に参加でき、関係が途切れないように支援できました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個別のエコマップを作成し、利用者の住んでいる地域での関わりを増やしていくべき。実現可能な具体的な計画を立てる必要がある。 ・事業所の所在地域でも、道路や危険箇所の把握を行い、利用者が安心安全に外出できるように工夫する必要がある。事業所の中だけで活動している様子が伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の家族とカンファレンス時、エコマップなどを利用しながら、利用者が近くの誰と仲良かったのか、どういう関わりをしていたかなどを聞き取り、その方達と本人が話せる時間を作れるよう家族と協力する。 ・事業所の所在地域内の危険場所などについて、送迎時に職員が気付いたこと等ヒヤリハットについて記録を行う。(地域ヒヤリハットマップ作製) <p>※散歩など外出時にも活用する。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>今後も、ほのぼの新聞や運営推進会議を通して、事業所内の活動状況や雰囲気を分かりやすく伝えていきます。また改善点を次回の運営推進会議にて報告したり、事例検討等、事業所内の運営について説明していきます。</p>	<p>ほのぼの新聞や運営推進会議を通じ、事業所内の日々の活動や運営状況を説明しました。 運営推進会議やご家族から出た意見、苦情を職員会議等で振り返ることができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の現状や困りごと、地域への相談事項等を具体的に地域の方に発信する必要がある。また、地域からの相談等も活発に出るような関係作り、取り組みが必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出された意見はすぐに職員で話し合う。また、地域の方から介護の事などなんでも相談してもらえる事業所になれるよう、職員個々が自ら挨拶し事業所のサービス内容の説明や相談に乗れる関係作りを心がける。
F. 事業所の防災・災害対策	<p>地域の防災訓練開催時には、地域の方がたくさん参加して頂けるよう呼びかけ等「いきいきカフェ」等を通じて積極的に協力・参加します。引続き、地域の方に協力を得られるように日頃から何かあった時はお互いが助け合える関係を作り、地区会長との連携を図っていきます。</p>	<p>昨年、11月の消防避難訓練以外、運営会議等を通して、災害時近隣の人々と連帯し協力していくことが以前より出来るようになりました。また、事業所内では緊急時の電話連絡網の訓練を行い、防災に対する意識を高めることができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との合同防災訓練を今後も継続してほしい。事業所からの参加もだが、地域からも参加人数を増やす努力をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、新しく入職した職員に防災、災害対策を知ってもらうべく、事業所の避難計画書及び地域の防災について勉強会を行い、合同防災訓練に参加してもらう。 ・運営推進会議で事業所の避難計画や訓練内容等について説明し、必要な助言を受ける。(年1回は実施) ・合同防災訓練を行う際には、事前に苞木地区の住民に参加案内の広報を行う。(回覧板、組長会資料等)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 31年 1月 25日 (13:30 ~ 14:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー 杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	人	7人

前回の改善計画

利用開始前に、フェイスシートを活用し、申し送りやカンファレンスをこまめに行い、職員間で情報を共有する事を継続する。

初期の送迎やサービス利用開始時、心身面の体調変化等をこまめに記録に残す。変化が見られた際は、ご家族様にこまめに報告する。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用開始前にフェイスシートを活用し、申し送りやカンファレンスで情報を共有ができた、初期の体調変化等こまめに記録に残す事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		1	6		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		4	3		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?		5	2		7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		6	1		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ご利用者の訴えに、耳を傾ける努力は出来ていると感じる。
- 職員間でご利用者のケアについてこまめに話し合いを行う事ができた。
- 日々のご利用者の状態や次回訪問時のケアや業務等、報告・連絡・相談ができた。
- ご家族の意向に添うことができているケースが高いと思う。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 職員間により対応する言葉遣いや丁寧さに違いが見られた。
- ご家族によっては、ご家族のニーズを全て受け止められていない。
- 利用開始後に新たなニーズや訴えも多く、必要以上に支援を求められることもあり応える事が難しい。
- ご家族と直接コミュニケーションを取る機会が少ないので、関わりが薄かった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 初期の関わりが大切だと認識している為、フェイスシートを活用して事前に情報を共有する事を継続する。
- 職員会やカンファレンスを開催し、改善点やケアについて、ご家族の意向について取り上げて職員全員が話し合う機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 1 月 25 日 (13:30 ~ 14:30)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	2人	0人	7人

前回の改善計画

日々の関わりや会話の中で、「～したい」という思い汲み取り、小さな事柄でも記録に残す。出来る範囲内で、ひとつでも多く「～したい」を実現させる。

前回の改善計画に対する取組み結果

出来る範囲で「～したい」を実現出来たと思うが、職員会議等で振り返りができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？	4	3	0	0	7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	5	2	0	0	7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか？	4	3	0	0	7
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	2	5	0	0	7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人の各々のゴールをある程度理解している。
- ・ご本人の「～したい」を出来る範囲内で実現出来ていると思う。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ご本人の「～したい」が利用者によって違う為、どのように実現したら良いか分かりにくい。
- ・ご本人それぞれの「～したい」の要望を把握できていない。
- ・職員会議やケア会議で検討する機会を増やす事が出来れば良かった。
- ・共有した情報に対する職員一人ひとりの捉え方が違っていた為、ケアに対する統一ができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ご本人それぞれの「～したい」の要望を聞き、「～したい」を実現する。
- ・カーデックスに書いてある利用者様個人個人のしたいことを把握する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 31 年 1 月 25 日 (13:30 ~ 14:30)
-----	------------------------------------

3. 日常生活の支援

メンバー	杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永
------	---------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画	職員会議で毎月ご利用者を数名に絞って、一人ひとりのケアについて見直したり、理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケア会議を開始した時期が、10月以降で取り組み時期が遅かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	4	1	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	2	5			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか?	1	4	2		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	5	1		7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できますか?	1	5	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 看護師の助言を十分に活かす事ができた。 ご利用の小さな体調の変化に気付き、早めの相談や受診対応ができた。 体調の悪いご利用者に細やかなケアが出来たと思う。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 介護職員の知識や技術に差が見られた。 介護職員により対応が異なったり、気付きの共有が出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 日々の小さな気付きをこまめに職員ノートや日々の記録に残す。出勤後、前日までの記録を読み返し、疑問や分からぬ箇所を把握する。解決した事を記録にケース等の記録に残し、日々のケアに活かす。 職員会で日々のケース記録などで気付いた事や、気になることは話し合うようとする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 31 年 1 月 25 日 (13:30 ~ 14:30)
------------------	-----	------------------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永
---------------	------	---------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	3 人	人	7 人

前回の改善計画

送迎や訪問時、ご家族様から夜間帯も含め、日常生活の状態や変化を聞き取り、記録に残す。
ご家族様からの問い合わせや相談時、上司や他職種に相談し、早く返答することを継続して対応する。

前回の改善計画に対する取組み結果

送迎や訪問時の状態や変化を記録に残すことができた。
ご家族からの問い合わせ時、すぐその時に細やかな返答が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	2		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	4		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	4		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6		7

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・訪問や送迎時等、ご家族からの問い合わせにすぐに返答が出来た。
- ・ご本人の心身の状態が維持出来る様に、支援ができた。
- ・

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・連泊のご利用者が多いため、地域との関係が薄くなってしまった。
- ・ご利用者の家の生活や過去の生活歴が理解できていないところがある。
- ・民生委員や地域の方との関係等、理解出来ていない部分がある

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・送迎や訪問時ご家庭での日常生活の状態や変化を記録に残す事を継続する。
- ・ご本人が住んでいる地区的民生員さんとこまめに連絡を取り、利用者様の状態報告などに努め、いつでも連絡が取れるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 1 月 25 日 (13:30 ~ 14:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画

ご利用者の体調に変化が見られたら、こまめに記録に残したり、職員連絡ノートや口頭にて職員間で情報を共有する。また引き続き、変化が見られたら、小さな事柄でもご家族に報告・相談する。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご利用者の体調変化時に、こまめに記録に残したり、報告・連絡・相談することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	5		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3	3		7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		4	3		7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	1	5	1		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ご利用者の小さな体調変化時に、ご家族に報告・連絡ができた。
- ご利用者それぞれの「通い」「訪問」「宿泊」のニーズに対応する事ができた。
- ・

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- まだ小規模多機能としての機能を十分に発揮出来ていない。
- 連続宿泊者が多い為、地域を生かした取り組みがあまり出来ていないように感じる。
- ・

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 連続宿泊利用者のご家族に今後についての意向を確認し、希望や介護度等状態に応じて特養入所を提案する。
- また、利用者様のご家族に普段から細やかに連絡を取り、何でも相談してもらえるような関係になるよう日々努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 1 月 25 日 (13:30 ~ 14:30)
6. 連携・協働	メンバー	杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5 人	2 人	人	7 人

前回の改善計画	「いきいきカフェ」開催時の参加や地域の清掃を中心に、継続して地域の行事や防災訓練に参加し、地域の方々と交流を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の行事にできるだけ多く参加し、地域の方々との繋がりを広げることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	3	1	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	5	1	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	5		7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	1	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域のお祭りや防災訓練に地域の方々と協力しながら参加できた。 ・定期的にいきいきカフェ（認知症カフェ）に参加し、地域の方々と関わる事ができた。 ・サービス利用開始の相談に伴い、介護・看護職員が医療機関を訪問し、会議に参加できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の会議に参加できない。 ・その他の機関や地域包括支援センターなど会議に参加できていない。 ・地域の活動やイベントをあまり理解できていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ご利用者が住んでいる地域も含めて様々な活動やイベントの情報を収集し、計画を立てる。職員が交替で参加する。 ・また、地区の方に名前や顔を覚えて頂けるよう、普段から挨拶や小さな会にも行くようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 1 月 25 日 (13:30 ~ 14:30)
7. 運営	メンバー	杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3 人	3 人	1 人	7 人

前回の改善計画

運営推進会議やご家族から出た意見や苦情を職員会議等で振り返り、業務改善に反映していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営会議やご家族から頂いた意見や苦情を職員会議で振り返った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	2	4		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	2		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	2		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	4	1	7

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・2ヶ月に1度の運営推進会議にて地域の方々から意見を取り入れ、反映することができた。
- ・施設全体会議に参加し、事業所としての意見交換は出来たと考えられる。
- ・認知症カフェや地域の子供達や職場体験等を受け入れることが出来た。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の方々と協働した取り組みは増えたが、まだまだ取り組みが出来ていない。
- ・地域に出る機会が少ない。集会所に出る時間が無い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・運営推進会議やご家族から出た意見や苦情を職員会議等で振り返り、業務改善に反映していく事を継続する。
- ・風早の家に提出されている苦情報告書をにじいいろに持ち帰り、にじいいろの職員に周知する。
- ・にじいいろを認知して頂く為に、地域と交流する機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 31 年 1 月 25 日 (13:30 ~ 14:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー 杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	4人	1人	7人

前回の改善計画

職員が各自主体的に館内外の研修会に参加する。また研修で得た情報や内容を職員会議等で提供し、職員間で共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

人員不足で、研修への参加はあまり出来なかった。引き続き、各個人が個人目標シートを作成し、資格取得やスキルを上げるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		2	2	3	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	3	3	7
③	地域連絡会に参加していますか			5	2	7
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		1	6		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職場内の研修に参加することは出来た。
- ・昨年に比べて年間を通して、外部の研修に参加することができた。
- ・インターネットや書面で得た情報を元に積極的に研修に参加できた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・スキルアップの研修に参加出来ていない。
- ・日々の介護業務や勤務時間帯も異なり、まだまだ研修に参加出来ていない。
- ・

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・職員の研修年間スケジュールを立て、資格取得や研修参加等研鑽に努め、スキルアップを図る。(別紙参照)
- ・毎月の勤務表の中で研修に参加する日を設定する。
- ・職員各個人で目標シート活用し、各自で自覚し、スキルアップに取り組む。
- ・ヒヤリハットの様式を工夫して、職員が小さな事でも記入し、分かるように配置する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 1 月 25 日 (13:30 ~ 14:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	杉森・宮本・村上・森・樋口・鎌田・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	人	人	7人

前回の改善計画

言葉による身体拘束も多い為、職員会議等定期的に身体拘束防止について振り返る機会を持つ。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員会議や研修に参加し、各自で各々振り返ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	1	6			7
②	虐待は行われていない		6	1		7
③	プライバシーが守られている	1	5	1		7
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	5		7
⑤	適正な個人情報の管理ができている		5	1	1	7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご利用者に対する虐待や身体拘束はしていない。
- ・虐待身体拘束に繋がる言葉遣いや態度の参考書で学び、常に心がけている。
- ・入浴や排泄等、プライバシーに配慮した支援を心がけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・スピーチロック（言葉による行動の抑制）を行ってしまうことがある。
- ・職員によっては、言葉遣いや表情・態度が適切でない時がある。
- ・分かっていても、感情的な言い方なってしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・職員会議や研修に参加し、身体拘束の適正化防止について継続して振り返る。
- ・職員会で自分がしたり、言ったりしたことなども振り返りみんなで話し合う時間を作る。
- ・虐待や身体拘束について知識を深める。